

競輪月刊

KEIRIN

3 2010
vol.406

Shooting Star Press

海老根恵太

第50回 解説者の眼が光る

井上茂徳の
この選手に注目!



第63回

日本選手権競輪(GI)

松戸競輪場 3/2・3・4・5・6・7

大阪府立産業技術総合研究所

競輪の収益金は、産業技術もサポートしています

今号で、御紹介する施設は、大阪府和泉市あゆみ野にある大阪府立産業技術総合研究所です。この施設は、大阪府内の企業と共同開発、委託研究、また技術提供をする施設です。

当所内には数多くの施設、様々な機械が設置され、企業の方々のサポートをしています。その中でも競輪がサポートに入った機械が、ACサーボ駆動プレス装置、元素分析付高分解能電界放出型走査電子顕微鏡、顕微鏡、顕微ラマン分光光度計です。

ACサーボ駆動プレス装置は、通常のプレス加工は、二発でドーンとプレスして加工していますが、これだと材質などの問題で割れてしまう等、問題が発生します。このプレス機は段階を付けての成型や、ゆつく

りプレスし成型、または、下から突き上げで成型ができる機械です。これを企業が使うことにより、自社で製造する場合にどのような機械が必要であるのか、また技術が必要であるのかを試せるという訳です。

元素分析付高分解能電界放出型走査電子顕微鏡は、各種材料の形態観察、材質分析や表面異物の元素分析を行なうことができる電子顕微鏡で、品質管理上、問題が出てしまったものの分析ができる顕微鏡です。見学の時は、銅板の表面に腐食があつたものを見せて頂きましたが、画面上に、銅と酸素の波形が出るので酸化による腐食と断定できると説明を受けました。そして、顕微ラマン分光光度計ですが、こ

れは常温常圧の中で、測定したい物質の分析ができる装置です。分析したい物質にレーザー光線を照射し、反射した光の波長が変化したものを分析し物質を特定するというものです。今回は、自転車の部品を測定していたところを見学させて頂きました。チェーンのネジに付着していた黒い物質は、カーボンと特定されました。

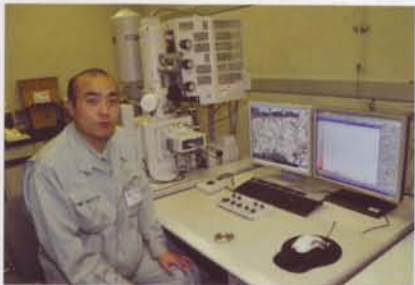
この3点の機器が競輪の収益金で設置され、大阪府の企業の方々にサポートし、発展に寄与しているのです。

今回、見学して下さったのは北村尚勝選手。この研究所の回りは練習で使っているそう、設立当時から知っていたそうです。北村選手のインタビューは42ページに掲載しています。

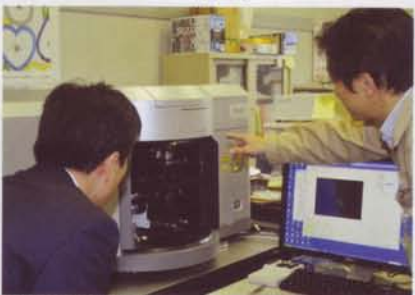
企業を技術的なサポートをしている大阪府立産業技術総合研究所。この研究所には工業産業に関する数多くの器械が揃い、企業の共同研究、研究開発、技術提供と工業関連の技術をサポートしている研究所。



ACサーボ駆動プレス装置。最新のプレス装置。このプレス機を使い今まで作れなかったものを作れるようになる。



元素分析付高分解能電界放出型走査電子顕微鏡。真空状態にして検査物を分析する。



顕微ラマン分光光度計。微細な光の波長を捉え分析する。



大阪支部の支部長を務めている北村尚勝選手が今回のレポーター。



今回説明して頂いた藤田直也氏。

今月の施設見学をした選手インタビュー 競輪ってこんな事やっっているんだ!!

今回は大阪支部の支部長を務めている北村尚勝選手に大阪府立産業技術総合研究所を訪ねて頂きました。

競輪が企業の応援にも役に立っている事を実感されていました。また、大阪支部の今の雰囲気は伺いました。若手選手の活躍が望まれている昨今、大阪支部は盛り上がりつつ来ています。ではどうぞ!



大阪支部

支部長 北村尚勝

競輪補助事業のシールをみると
ちょっと嬉しくなるんですよ。

乾準一が皆を引っ張って、南修二、
稲川翔が頑張ってきています。

—見学された感想はいかがでしたか。

「僕はこの辺りで練習しているので、出来た当時から知っていましたけど、なんだらこうかと思っていました。そうしたら、企業を応援する研究開発の施設だったんですね。今回、初めて中に入って、色々な機械を見させて頂きましたけど、貴重な体験でした。」

—競輪の補助事業でこのようにお金が使われていることに対してはいかがですか。

「競輪補助事業のシール見て、ちょっと嬉しかったですね。たまに見るんですよ。救急車とか、検診車とか。あれを見ると、見る度に嬉しくなりますね。近くに関西サイクルスポーツセンターがあつて、その救急車も競輪補助事業のシールが貼ってあったので、ここにもあるんだなと思つて。」

支部長になつてから、やつと最近、その補助事業というのをだいぶ理解してきました。なかなかやることやつているのだなと。

でも、この施設にあるような高価な珍しい機械にも補助金が役に立っているとは、僕はあまり分からなかったですね。今日、初めて知りました。良い経験させてもらいました。今日は何か、見学がしんどいなと思つていましたけど、どんどん食い入ってきました(笑)」

—さて、現在大阪では南修二選手、稲川翔選手

と若手選手が出ていますが、いかがでしたか。

「稲川は弟子なんですよ。もう頑張つてますよ、真面目に。大阪は練習地区が4つに分かれていて、僕は関西サイクルスポーツセンターで練習していて、そのグループに乾準一君が出てきてから、ちょっと変わりましたね。乾君の存在は凄く大きいと思いますよ。最初の中武克雄がチームとして、引っ張つてくれたんですけど、それを受け継いだのが乾君ですよ。それで、乾が全部引っ張つてくれて、みんな若手が強くなつてきています。」

けど、もう一つね、飛び抜けて強い子がなかなか。南君がちやうと出てきたくらい。あとは続いてくれないですね。

大阪はちやうど中堅より上が頑張っているんですよ。中澤兄弟とか古原勝巳とか前田拓也、渡邊泰夫とか、みんな年上ですからね。雰囲気は良いですよ。支部の雰囲気は、僕を信用してくれて、やつてくれています。イベントとかにも協力してくれるようになりましたね。

それとは別ですが、3月14日に、高速道路が新しくできますが、こげら落として府知事と一緒に市民が自転車で走るイベントに、先導役として、協力してくれと言われていて走ります。」

—最後に大阪支部の抱負などお聞かせ下さい。
「何て言うか、この苦しい時期やからね。もう頑張るしかないですね。あんまり遠回しなことは考えなくて、やることをやっつていこうと、それだけです。」